

宇土市
デジタル田園都市国家構想総合戦略策定に係る
アンケート調査
結果報告書

令和6年9月

宇土市

第Ⅰ章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、人口減少や少子高齢化の進展が予測される中、デジタルの力を活用し、地域の効果的な社会課題解決を目的に、令和7年度を開始年度とする「宇土市デジタル田園都市国家構想総合戦略」策定に向け、計画の基礎資料とすることを目的としています。

2. 調査の実施要領

調査時期	令和6年8月
調査方法	郵送・インターネット調査

調査対象者		配布数	有効回収数	有効回答率
市民	宇土市在住の一般市民 (18～49歳)	1,600件	461件	28.8%
転入者	R4.4.1～R6.3.31転入者	102件	37件	36.3%
転出者	R4.4.1～R6.3.31転入者	100件	30件	30.0%
企業	宇土市内の企業	100件	52件	52.0%
外国人	宇土市在住の在留外国人 (18歳以上)	398件	102件	25.6%

3. 調査結果利用上の注意

- ・各設問のnは、回答者数を表しています。
- ・回答率は百分比の小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、選択肢ごとの割合を合計すると100%を超える場合があります。
- ・回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記しています。
- ・数表、図表は、スペースの都合上、文言等を省略している場合があります。
- ・クロス集計における年齢別の「10代」及び地区別の「轟」「走潟」「緑川」「網津」「網田」のサンプル数が少ないため集計結果については注意が必要です。

第2章 調査結果の総括

1. 宇土市の暮らしについて

◆宇土市の特徴や検討すべき課題等

約7割以上の市民が宇土市を『住みやすい』と感じており（図表1）、今後の居住意向についても7割の市民が『住み続けたい』と回答しています（図表2）。『住み続けたい』理由としては、「買い物や生活に便利」や「両親や親戚が市内に住んでいる」、「交通の便が良い、通勤・通学に便利」の割合が高くなっています。（図表3）

しかし、地区によっては「非常に住みにくい」とする回答もあり、理由としては「交通の便が悪い、通勤・通学に不便」や「買い物や生活に不便」の割合が高くなっています。（図表4）

宇土市の強みとして、市街地では「買い物や生活に便利」、「交通の便が良い、通勤・通学に便利」という点があげられますが、市全域でみると暮らしの不満足の要因となっていることが伺えます。このように、居住地の選択肢として交通機関や生活環境の利便性が重要視されていることがわかります。このようなことから、買物や移動が不便な地域においても持続可能な地域となるよう、民間企業等との共創のもと、デジタルを活用するなど新たな事業やサービスの創出が必要となっています。

宇土市への転入及び宇土市からの転出の理由については、ともに「仕事の都合」と「住宅の都合」の割合が高くなっています。（図表5、6）

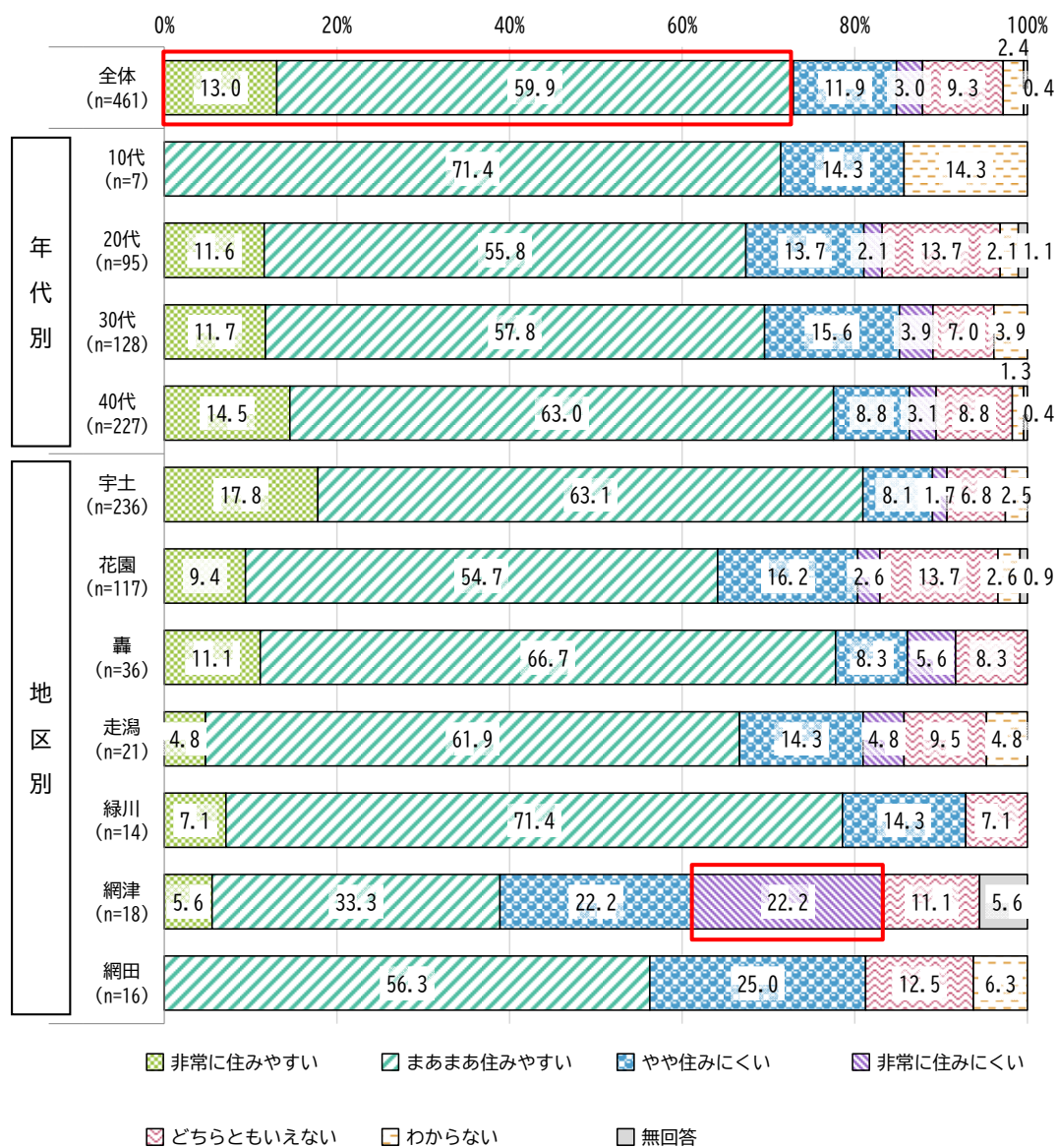
また、このような転出者が定住するにあたっては、「医療や介護、福祉に関する支援」や「住まいに関する支援」、「子育てや子どもの教育に関する支援」の充実を希望している割合が高くなっています。（図表7、8）

さらに、転出者のうち6割近くの人が『戻って住みたい：（いずれ戻って住みたい＋可能であれば戻って住みたい）』と回答しており、戻ってくるための状況として「宇土市内若しくは近くに就職・転勤・転職できたら」や「希望に合う住宅が見つかったら」の割合が高くなっています。（図表9、10）

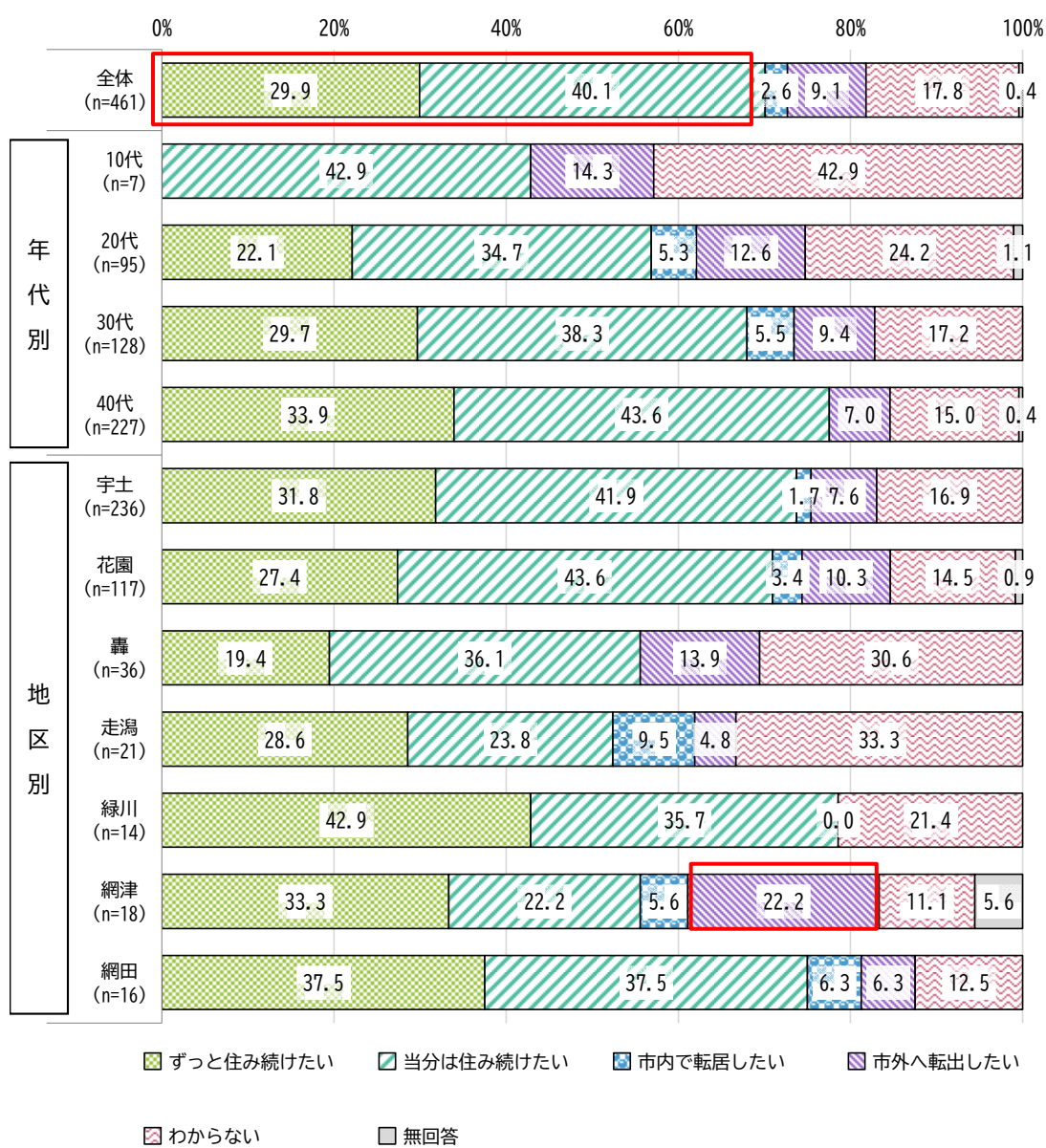
このようなことから、定住促進の施策として、若者のニーズにあった企業誘致や、テレワークの推進など仕事の確保及び、住宅地の整備や既存施設、空き家の有効活用した住宅の確保が重要となっています。

在留外国人のうち約7割の人が宇土が暮らしやすいと回答しています。（図表11）また、外国人が暮らしやすい地域にするために必要なこととして、「外国語による相談・通訳の充実」や、次いで「外国人が日本語や日本文化を学ぶ機会を増やす」、「外国語での生活についての情報の提供」の割合が高くなっています。（図表12）このようなことから、日本語を学ぶ機会や、多言語に対応できる相談窓口や情報提供が求められています。

図表1 宇土市は住みやすいまちだと思うか（市民 問7）



図表2 今後の居住意向（市民 問10）



図表3 住み続けたい理由（市民 問8-1） ＊『住み続けたい』と回答した方のみ

	全体				
	(n=323)	10代(n=7)	20代(n=95)	30代(n=128)	40代(n=227)
第1位	買い物や生活に便利	買い物や生活に便利	買い物や生活に便利	買い物や生活に便利	買い物や生活に便利
	49.5%	100.0%	48.1%	50.6%	49.4%
第2位	両親や親戚が市内に住んでいる	自然環境にめぐまれている	両親や親戚が市内に住んでいる	両親や親戚が市内に住んでいる	両親や親戚が市内に住んでいる
	34.1%	66.7%	37.0%	32.2%	34.1%
第3位	交通の便が良い、通勤・通学に便利	複数	自然環境にめぐまれている	特に転居したいところがない	交通の便が良い、通勤・通学に便利
	26.9%	33.3%	35.2%	23.0%	29.5%

	宇土 (n=174)	花園 (n=83)	轟 (n=20)	走潟 (n=11)	緑川 (n=11)	網津 (n=10)	網田 (n=12)
第1位	買い物や生活に便利	買い物や生活に便利	買い物や生活に便利	自然環境にめぐまれている	地域での人間関係	治安が良い	自然環境にめぐまれている
	55.2%	56.6%	55.0%	63.6%	54.5%	60.0%	66.7%
第2位	両親や親戚が市内に住んでいる	両親や親戚が市内に住んでいる	交通の便が良い、通勤・通学に便利	地域での人間関係	両親や親戚が市内に住んでいる	自然環境にめぐまれている	両親や親戚が市内に住んでいる
	36.8%	32.5%	35.0%	45.5%	36.4%	50.0%	41.7%
第3位	交通の便が良い、通勤・通学に便利	自然環境にめぐまれている	特に転居したいところがない	特に転居したいところがない	特に転居したいところがない	地域での人間関係	特に転居したいところがない
	32.8%	25.3%	30.0%	45.5%	36.4%	50.0%	41.7%

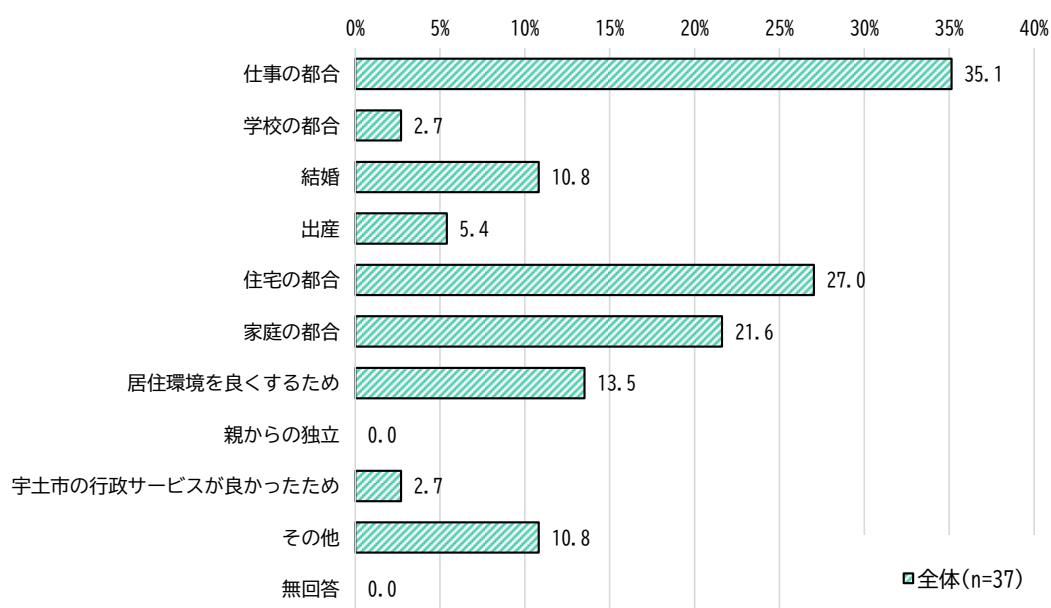
図表4 転出したい理由（市民 問8-1） ＊『転居、転出したい』と回答した方のみ

	全体 (n=42)	10代(n=1)	20代(n=12)	30代(n=12)	40代(n=16)
第1位	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 45.2%	仕事・学校・家庭の事情 100.0%	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 58.3%	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 41.7%	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 43.8%
第2位	買い物や生活に不便 31.0%	—	買い物や生活に不便 41.7%	買い物や生活に不便 33.3%	保健・福祉・医療が充実していない 37.5%
第3位	仕事・学校・家庭の事情 31.0%	—	仕事・学校・家庭の事情 41.7%	複数	子育て・教育の環境が良くない 31.3%

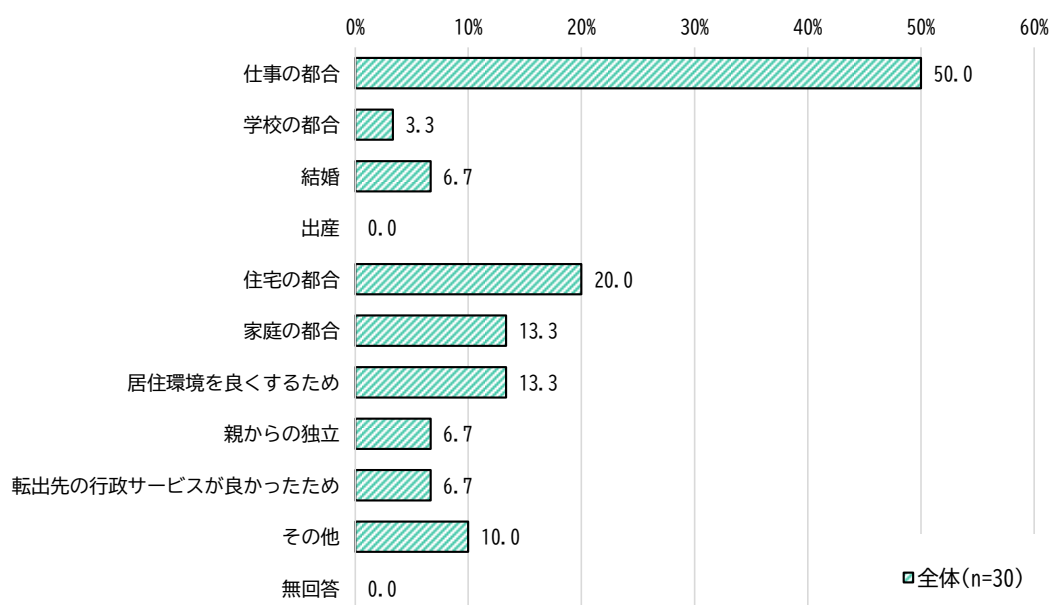
	宇土 (n=18)	花園 (n=12)	轟 (n=5)	走潟 (n=1)	緑川 (n=0)	網津 (n=4)	網田 (n=1)
第1位	仕事・学校・家庭の事情 50.0%	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 58.3%	買い物や生活に不便 60.0%	仕事・学校・家庭の事情 100.0%	—	買い物や生活に不便 100.0%	地域での人間関係が良くない 100.0%
第2位	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 38.9%	子育て・教育の環境が良くない 33.3%	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 40.0%	—	—	交通の便が悪い、通勤・通学に不便 75.0%	買い物や生活に不便 100.0%
第3位	子育て・教育の環境が良くない 22.2%	行政サービスが充実していない 33.3%	子育て・教育の環境が良くない 40.0%	—	—	保健・福祉・医療が充実していない 50.0%	その他 100.0%

区（自治会）に参加したくない
40.0%

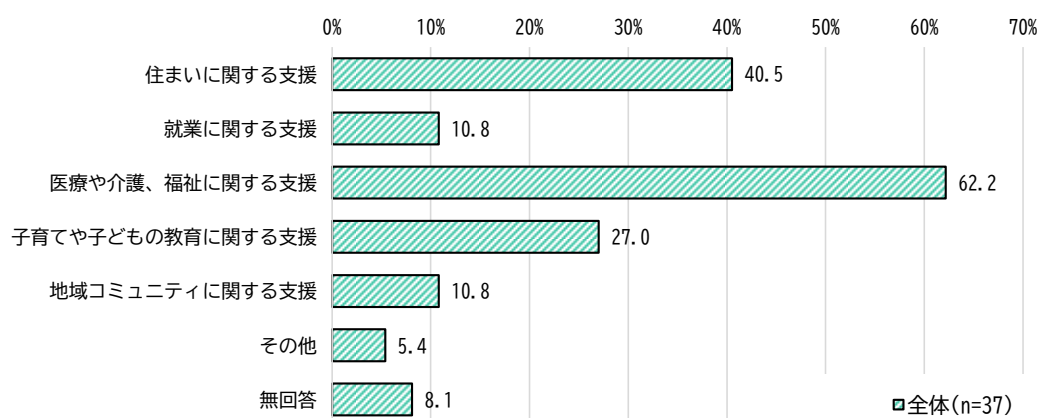
図表5 宇土市に転入することになった主な理由（転入者 問8）



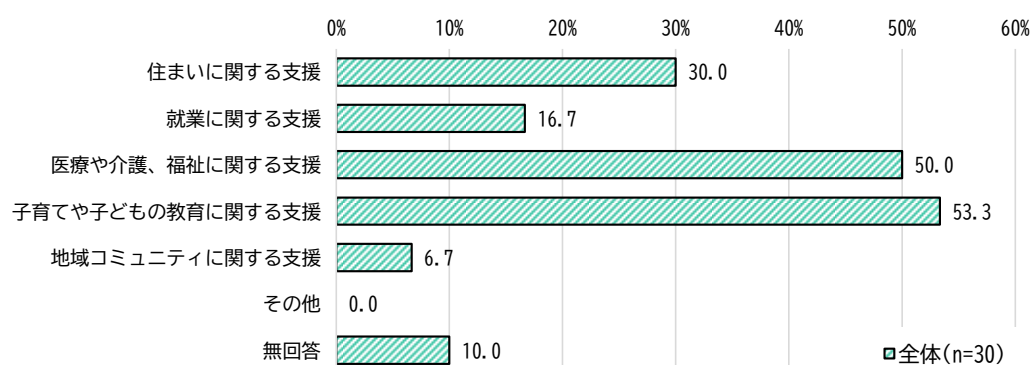
図表6 宇土市から転出した理由は何ですか。（転出者 問8）



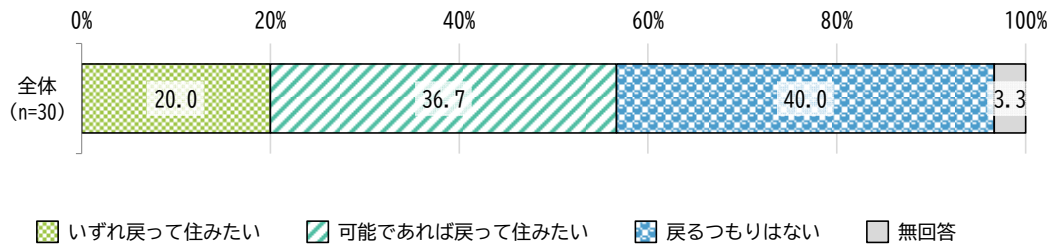
図表7 どのような支援が充実していると宇土市に住み続けたいと思うか（転入者 問20）



図表8 より充実させるべき宇土市の取組（転出者 問17）

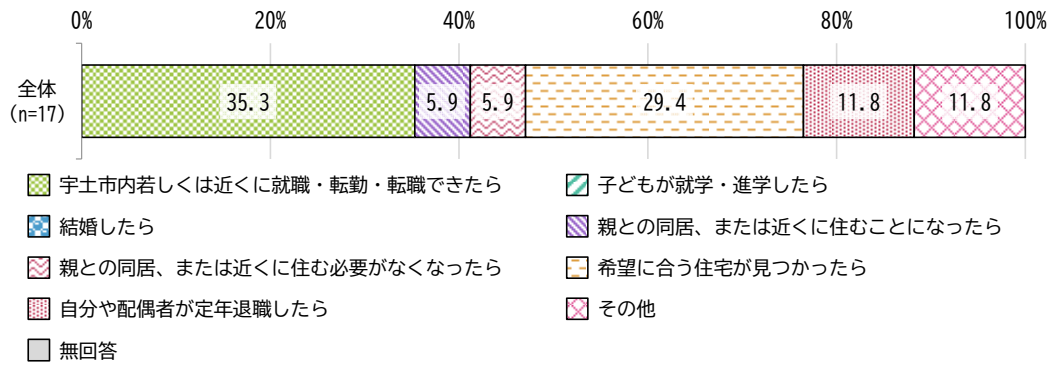


図表 9 将来、宇土市に戻って住みたいと思うか（転出者 問 18）

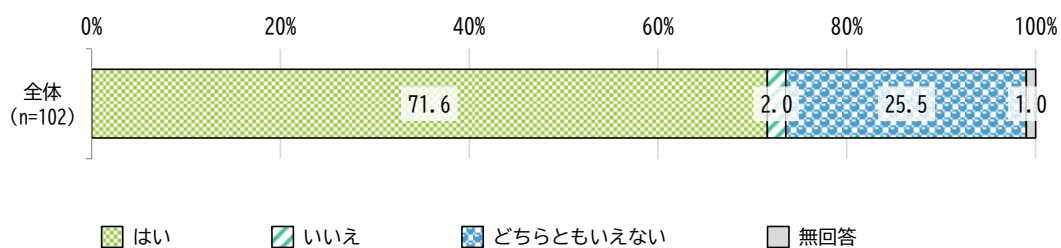


図表 10 どのような状況になれば、宇土市に戻って住みたいか（転出者 問 19）

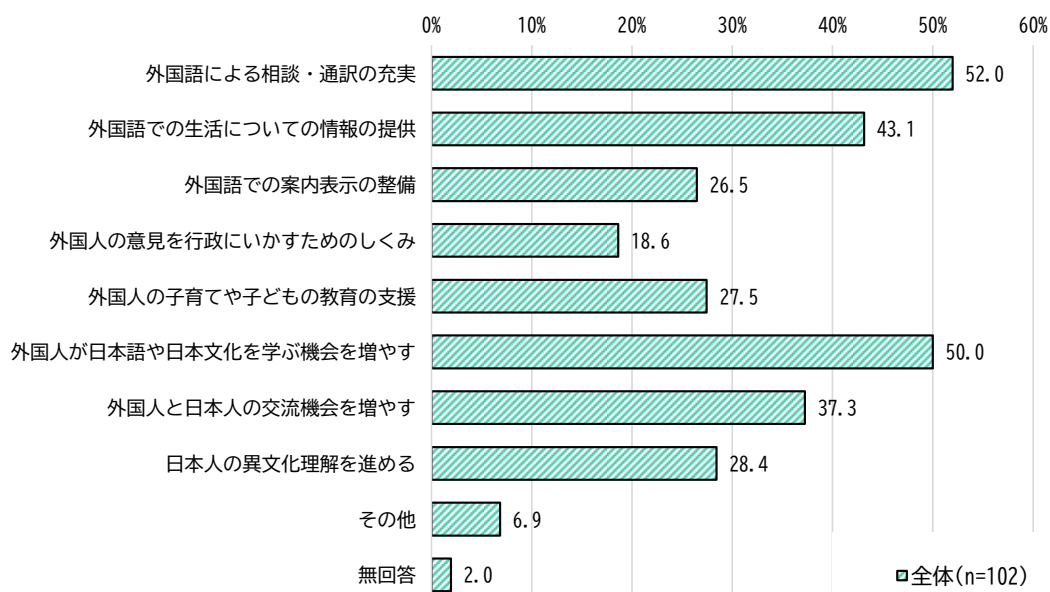
前問で「1～2」を選んだ方のみ



図表 11 宇土市は外国人にとって暮らしやすい地域だと思うか（外国人 問38）



図表 12 外国人が暮らしやすい地域にするために必要なこと（外国人 問35）



2. 宇土市の取組について

◆宇土市の特徴や検討すべき課題等

宇土市の取組の達成度の高い取組は、「地域資源を活かした観光振興に関する取組」、「特色のある教育の拡充や地域や学校との連携・協働など教育の充実するための取組」、「多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組」が上位3位となっています。（図表 13①）

一方、達成度の低い取組は、「住環境の整備、空き家活用による移住・定住促進に関する取組」、「農業・漁業体験、空き家等を活用した交流を拡大するための取組」、「若者定住のための結婚・出産に関する支援に関する取組」が上位3位となっています。（図表 13②）

また、宇土市の取組の重要度の高い取組は、「多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組」、「若者定住のための結婚・出産に関する支援に関する取組」、「地域資源を活かした観光振興に関する取組」が上位3位となっています。（図表 13③）

一方、重要度の低い取組は、「農業・漁業体験、空き家等を活用した交流を拡大するための取組」、「SDGs の推進による持続可能な社会づくりに関する取組」、「住環境の整備、空き家活用による移住・定住促進に関する取組」が上位3位となっています。（図表 13④）

さらに、これを数値化し分類した結果『重要度が高く達成度が低い取組』に位置付けられた「情報発信強化による宇土市の認知度・関心度を高めるための取組」「住環境の整備、空き家活用による移住・定住促進に関する取組」「若者定住のための結婚・出産に関する支援に関する取組」「企業誘致と有効な土地利用の推進に関する取組」については、市民のウェルビーイングを高めるために充実する取組として優先的に取り組むことが求められています。（図表 13⑤）

また、重要度の低い取組として関係人口創出の関連する取組や、SDGsに関する取組が上位となったことについては、認知度の低さが影響していると考えられることから取組の重要性の周知や意識啓発が必要となっています。

図表 13 宇土市の取組の達成度及び重要度（市民 問 1 2）

①達成度が『高い：（高い＋やや高い）』取組

	全体 (n=461)				
		10代(n=7)	20代(n=95)	30代(n=128)	40代(n=227)
第1位	地域資源を活かした観光振興に関する取組	農業・漁業の振興による新たな雇用の創出に関する取組	地域資源を活かした観光振興に関する取組	地域資源を活かした観光振興に関する取組	地域資源を活かした観光振興に関する取組
	34.1%	42.9%	44.2%	29.6%	32.2%
第2位	特色のある教育の拡充や地域や学校との連携・協働など教育の充実するための取組	複数	特色のある教育の拡充や地域や学校との連携・協働など教育の充実するための取組	多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組	特色のある教育の拡充や地域や学校との連携・協働など教育の充実するための取組
	25.4%		24.3%	22.7%	28.2%
第3位	多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組	複数	市民の地域活動促進に関する取組	特色のある教育の拡充や地域や学校との連携・協働など教育の充実するための取組	多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組
	22.8%		20.0%	21.9%	25.1%

	宇土 (n=236)	花園 (n=117)	轟 (n=36)	走潟 (n=21)	緑川 (n=14)	網津 (n=18)	網田 (n=16)
第1位	地域資源を活かした観光振興に関する取組	地域資源を活かした観光振興に関する取組	情報発信による宇土市の認知度を高めるための取組	特色のある教育の拡充や学校との連携・協働など教育の充実するための取組	地域資源を活かした観光振興に関する取組	地域資源を活かした観光振興に関する取組	地域資源を活かした観光振興に関する取組
	31.8%	36.7%	30.6%	52.4%	42.9%	38.9%	43.8%
第2位	特色のある教育の拡充や学校との連携・協働など教育の充実するための取組	多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組	地域資源を活かした観光振興に関する取組	地域資源を活かした観光振興に関する取組	特色のある教育の拡充や学校との連携・協働など教育の充実するための取組	デジタル化の推進に関する取組	特色のある教育の拡充や学校との連携・協働など教育の充実するための取組
	22.4%	28.2%	27.8%	38.1%	35.7%	22.3%	25.0%
第3位	多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組	特色のある教育の拡充や学校との連携・協働など教育の充実するための取組	多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組 特色のある教育の拡充や学校との連携・協働など教育の充実するための取組	多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組	情報発信による宇土市の認知度を高めるための取組	多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組	情報発信による宇土市の認知度を高めるための取組 多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組 市民の地域活動促進に関する取組
	19.0%	26.5%	25.0%	33.4%	28.6%	22.2%	18.8%

②達成度が『低い：(やや低い+低い)』取組

	全体 (n=461)	10代(n=7)	20代(n=95)	30代(n=128)	40代(n=227)
第1位	住環境の整備、空き家活用による移住・定住促進に関する取組	複数	農業・漁業体験、空き家等を活用した交流を拡大するための取組	若者定住のための結婚・出産に関する支援に関する取組	農業・漁業体験、空き家等を活用した交流を拡大するための取組
	47.5%	57.2%	47.3%	44.6%	48.9%
第2位	農業・漁業体験、空き家等を活用した交流を拡大するための取組	複数	住環境の整備、空き家活用による移住・定住促進に関する取組 若者定住のための結婚・出産に関する支援に関する取組	住環境の整備、空き家活用による移住・定住促進に関する取組	農業・漁業の振興による新たな雇用の創出に関する取組
	46.4%	42.9%	46.3%	43.8%	29.5%
第3位	若者定住のための結婚・出産に関する支援に関する取組	複数	情報発信強化による宇土市の認知度・関心度を高めるための取組	企業誘致と有効な土地利用の推進に関する取組	特色のある教育の拡充や地域や学校との連携・協働など教育の充実するための取組
	42.3%	28.6%	43.2%	42.9%	25.6%

	宇土 (n=236)	花園 (n=117)	轟 (n=36)	走潟 (n=21)	緑川 (n=14)	網津 (n=18)	網田 (n=16)
第1位	農業・漁業体験、空き家を活用しをる取組	住環境の空き活用移住に関する取組	農業・漁業体験、空き家を活用しをる取組	農業・漁業体験、空き家を活用しをる取組 企業誘致と有効な土地利用の推進に関する取組	農業・漁業体験、空き家を活用しをる取組	住環境の空き活用移住に関する取組	若者定住のための結婚・出産に関する取組
	46.2%	51.3%	58.3%	47.6%	42.9%	77.7%	62.6%
第2位	住環境の空き活用移住に関する取組	農業・漁業体験、空き家を活用しをる取組	住環境の空き活用移住に関する取組	創業・就労支援と交際の場づくりに関する取組	情報発信強化による宇土市の認知度を高めるための取組	企業誘致と有効な土地利用の推進に関する取組	情報発信強化による宇土市の認知度を高めるための取組
	45.3%	43.6%	52.7%	42.8%	35.7%	61.6%	37.6%
第3位	企業誘致と有効な土地利用の推進に関する取組	若者定住のための結婚・出産に関する取組	若者定住のための結婚・出産に関する取組	農業・漁業の振興による新たな雇用の創出に関する取組	複数	農業・漁業体験、空き家を活用しをる取組	住環境の空き活用移住に関する取組
	44.9%	41.0%	38.9%	38.1%	28.6%	55.6%	37.5%

③重要度が『高い：(高い+やや高い)』取組

	全体 (n=461)	10代(n=7)	20代(n=95)	30代(n=128)	40代(n=227)
第1位	多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組 68.5%	企業誘致と有効な土地利用の推進に関する取組 100.0%	若者定住のための結婚・出産に関する支援に関する取組 75.8%	多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組 69.5%	多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組 65.7%
第2位	若者定住のための結婚・出産に関する支援に関する取組 65.7%	複数 85.7%	特色のある教育の拡充や地域や学校との連携・協働など教育の充実するための取組 73.7%	地域資源を活かした観光振興に関する取組 65.7%	地域資源を活かした観光振興に関する取組 63.5%
第3位	地域資源を活かした観光振興に関する取組 65.5%	複数 71.5%	多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組 72.6%	若者定住のための結婚・出産に関する支援に関する取組 64.9%	若者定住のための結婚・出産に関する支援に関する取組 61.7%

	宇土 (n=236)	花園 (n=117)	轟 (n=36)	走潟 (n=21)	緑川 (n=14)	網津 (n=18)	網田 (n=16)
第1位	多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組	若者定住のための結婚・出産に関する支援に取組	特色のある教育や学校の連携・協働など教育の充実するための取組	多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組	情報発信による宇土市の認知度を高めるための取組 地域資源を活かした観光振興に取組 若者のための結婚・出産に関する支援に取組	多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組	若者定住のための結婚・出産に関する支援に取組
	69.9%	70.1%	63.9%	66.7%	78.6%	83.3%	50.1%
第2位	地域資源を活かした観光振興に取組	多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組	若者定住のための結婚・出産に関する支援に取組 多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組	特色のある教育や学校の連携・協働など教育の充実するための取組	特色のある教育や学校の連携・協働など教育の充実するための取組	情報発信による宇土市の認知度を高めるための取組	地域資源を活かした観光振興に取組 特色のある教育や学校の連携・協働など教育の充実するための取組
	65.7%	69.3%	61.1%	61.9%	71.5%	77.7%	50.0%
第3位	若者定住のための結婚・出産に関する支援に取組	地域資源を活かした観光振興に取組	地域資源を活かした観光振興に取組	地域資源を活かした観光振興に取組 住環境の整備、空き家活用、移住・定住促進に関する取組	多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組 デジタル化の推進に関する取組	地域資源を活かした観光振興に取組 若者定住のための結婚・出産に関する支援に取組	多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組
	65.3%	68.3%	58.4%	57.2%	71.4%	72.2%	37.6%

④重要度が『低い：(やや低い+低い)』取組

	全体				
	(n=461)	10代(n=7)	20代(n=95)	30代(n=128)	40代(n=227)
第1位	農業・漁業体験、空き家等を活用した交流を拡大するための取組	農業・漁業体験、空き家等を活用した交流を拡大するための取組	企業誘致と有効な土地利用の推進に関する取組	SDGsの推進による持続可能な社会づくりに関する取組	住環境の整備、空き家活用による移住・定住促進に関する取組
	15.0%	14.3%	17.9%	16.5%	15.5%
第2位	SDGsの推進による持続可能な社会づくりに関する取組		SDGsの推進による持続可能な社会づくりに関する取組	農業・漁業体験、空き家等を活用した交流を拡大するための取組	農業・漁業体験、空き家等を活用した交流を拡大するための取組 地元企業の経営基盤強化と雇用対策支援に関する取組
	14.8%		16.9%	15.6%	15.4%
第3位	住環境の整備、空き家活用による移住・定住促進に関する取組		創業・就労支援と異業種交流の場づくりに関する取組	官民連携・広域連携の推進に関する取組	農業・漁業の振興による新たな雇用の創出に関する取組
	13.9%		15.8%	14.9%	15.0%

	宇土 (n=236)	花園 (n=117)	轟 (n=36)	走潟 (n=21)	緑川 (n=14)	網津 (n=18)	網田 (n=16)
第1位	SDGsの推進による持続可能な社会づくりに関する取組	農業・漁業体験、空き家等を活用した交流を拡大するための取組	複数	地元企業の経営基盤強化と雇用対策支援に関する取組	SDGsの推進による持続可能な社会づくりに関する取組	地元企業の経営基盤強化と雇用対策支援に関する取組	若者定住のための結婚・出産に関する支援に関する取組
	16.1%	15.4%		19.1%	21.4%	27.8%	25.1%
第2位	農業・漁業体験、空き家等を活用した拡大のための取組	情報発信強化による宇土市の認知度・関心度を高めるための取組	複数	住環境の整備、空き家活用による移住・定住促進に関する取組 若者定住のための結婚・出産に関する支援に関する取組	官民連携・広域連携の推進に関する取組	創業・就労支援と異業種交流の場づくりに関する取組 官民連携・広域連携の推進に関する取組 デジタル化の推進に関する取組	複数
		住環境の整備、空き家活用による移住・定住促進に関する取組 SDGsの推進による持続可能な社会づくりに関する取組					
	15.7%	12.0%	13.9%	19.0%	14.3%	22.3%	18.8%
第3位	地元企業の経営基盤強化と雇用対策支援に関する取組	官民連携・広域連携の推進に関する取組	複数	複数	農業・漁業の振興による新たな雇用の創出に関する取組	住環境の整備、空き家活用による移住・定住促進に関する取組	複数
	15.3%	11.9%			14.2%	22.2%	
			11.1%	14.3%			12.6%

⑤優先的取組

各施策における「達成度」と「重要度」の回答結果を、以下に示す方法で加重平均値により数値化し、施策改善の必要性について優先度分析を行いました。

■施策達成度・重要度評価方法

達成度評点：高い（５点）、やや高い（４点）、どちらとも言えない（３点）、やや低い（２点）、低い（１点）
重要度評点：高い（５点）、やや高い（４点）、どちらとも言えない（３点）、やや低い（２点）、低い（１点）
として、回答者の平均得点を算出。

算出した「達成度」と「重要度」の評価点を用い、縦軸に重要度、横軸に達成度をとった相関関係を分布図に示すことで各施策の位置づけを整理しました。

A領域 重点改善項目（重要度が高く達成度が低い） 項目

施策の重点化や抜本的な見直しなども含め達成度を高める必要のある領域

1. 情報発信強化による宇土市の認知度・関心度を高めるための取組
4. 住環境の整備、空き家活用による移住・定住促進に関する取組
5. 若者定住のための結婚・出産に関する支援に関する取組
10. 企業誘致と有効な土地利用の推進に関する取組

B領域 重点維持項目（重要度、達成度ともに高い） 項目

現時点での達成度の水準を維持していく領域

2. 地域資源を活かした観光振興に関する取組
6. 多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組
7. 特色のある教育の拡充や地域や学校との連携・協働など教育の充実するための取組

C領域 改善項目（重要度、達成度ともに低い） 項目

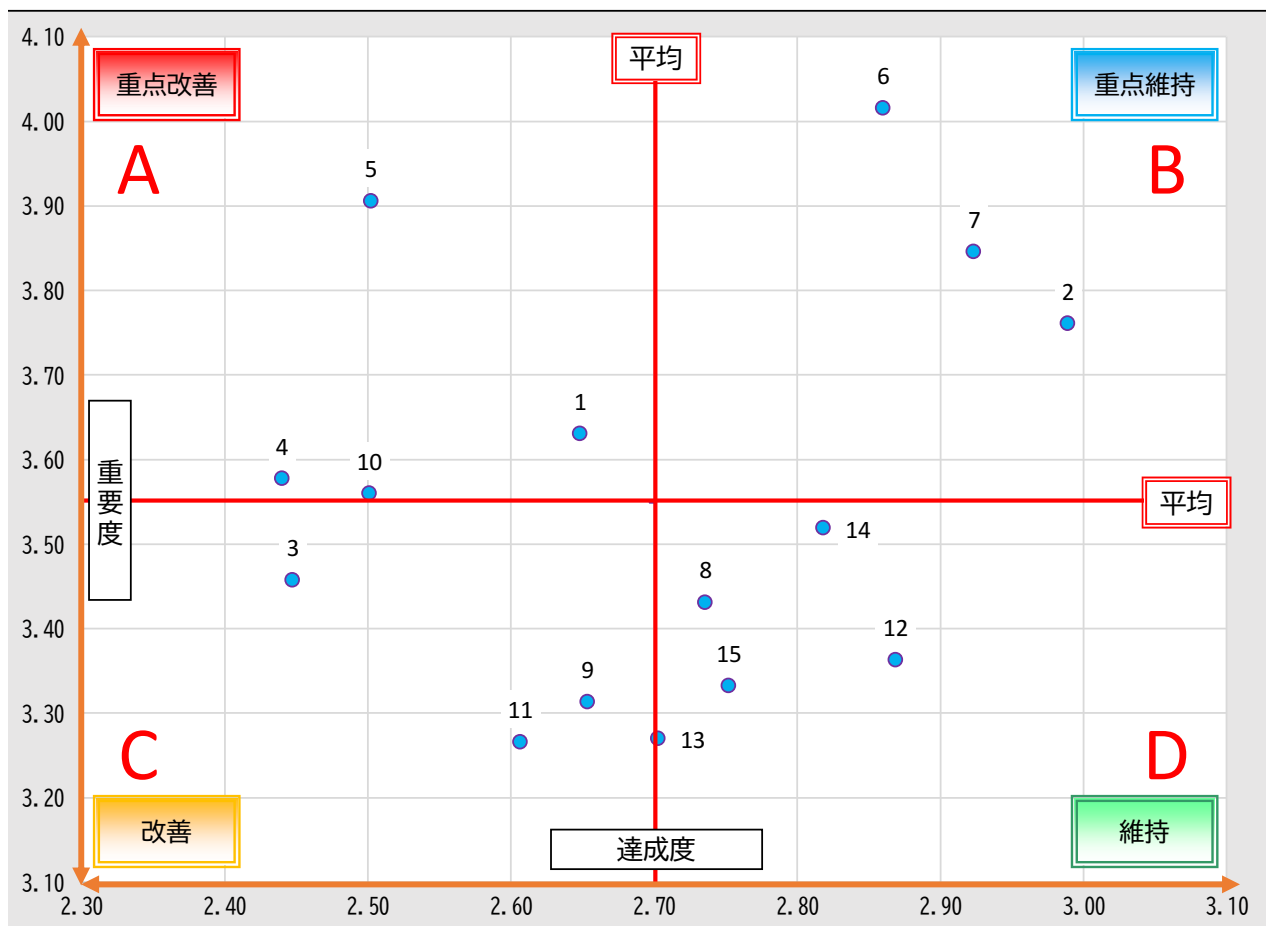
施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものをあらためて見直す必要のある領域

3. 農業・漁業体験、空き家等を活用した交流を拡大するための取組
9. 地元企業の経営基盤強化と雇用対策支援に関する取組
11. 創業・就労支援と異業種交流の場づくりに関する取組

D領域 維持項目（重要度が低く達成度が高い） 項目

達成度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて見直すべき必要のある領域

8. 農業・漁業の振興による新たな雇用の創出に関する取組
12. 市民の地域活動促進に関する取組
13. 官民連携・広域連携の推進に関する取組
14. デジタル化の推進に関する取組
15. SDGs の推進による持続可能な社会づくりに関する取組



- 1 情報発信強化による宇土市の認知度・関心度を高めるための取組
- 2 地域資源を活かした観光振興に関する取組
- 3 農業・漁業体験、空き家等を活用した交流を拡大するための取組
- 4 住環境の整備、空き家活用による移住・定住促進に関する取組
- 5 若者定住のための結婚・出産に関する支援に関する取組
- 6 多様なニーズに合わせた子育て支援を充実するための取組
- 7 特色のある教育の拡充や地域や学校との連携・協働など教育の充実するための取組
- 8 農業・漁業の振興による新たな雇用の創出に関する取組
- 9 地元企業の経営基盤強化と雇用対策支援に関する取組
- 10 企業誘致と有効な土地利用の推進に関する取組
- 11 創業・就労支援と異業種交流の場づくりに関する取組
- 12 市民の地域活動促進に関する取組
- 13 官民連携・広域連携の推進に関する取組
- 14 デジタル化の推進に関する取組
- 15 SDGsの推進による持続可能な社会づくりに関する取組

3. 宇土市の魅力

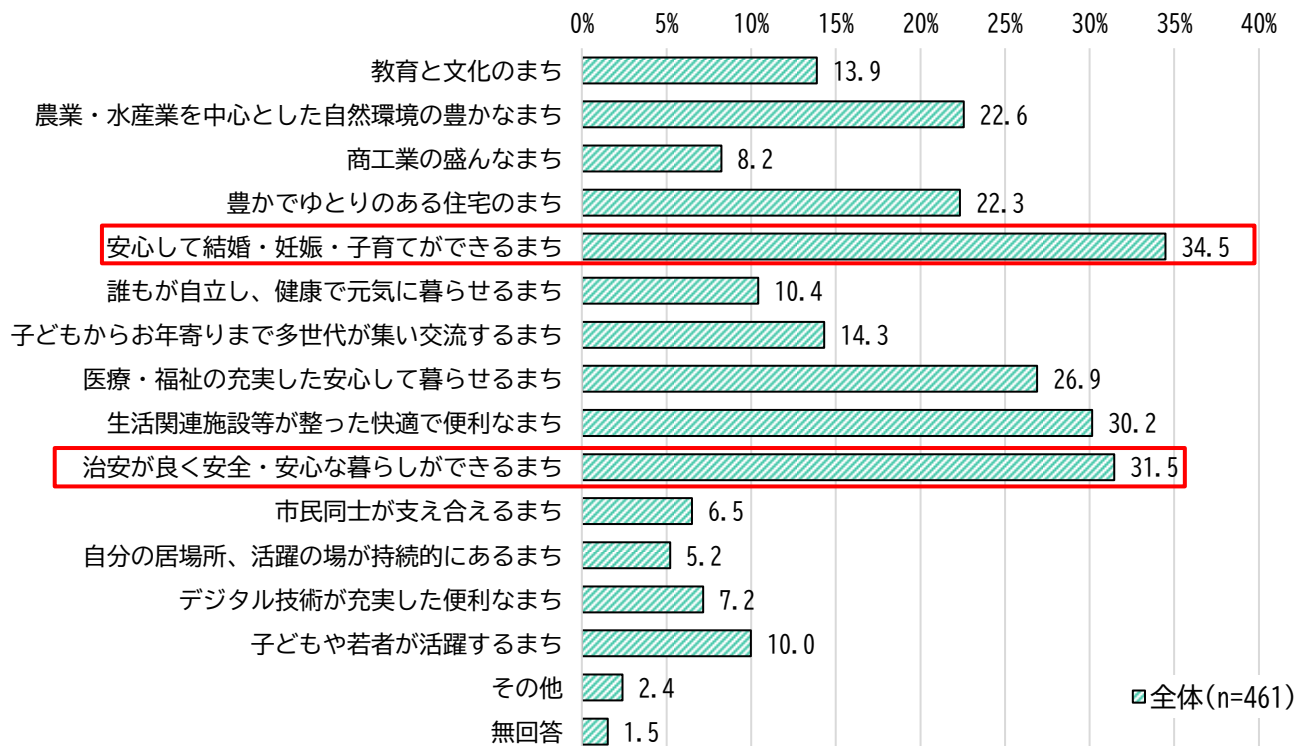
◆宇土市の特徴や検討すべき課題等

今回の市民の調査対象者が49歳以下となることから子育て世代が多いと考えられ、宇土市の将来のイメージについては、「安心して結婚・妊娠・子育てができるまち」や「治安が良く安全・安心な暮らしができるまち」の割合が高くなっています。（図表14）

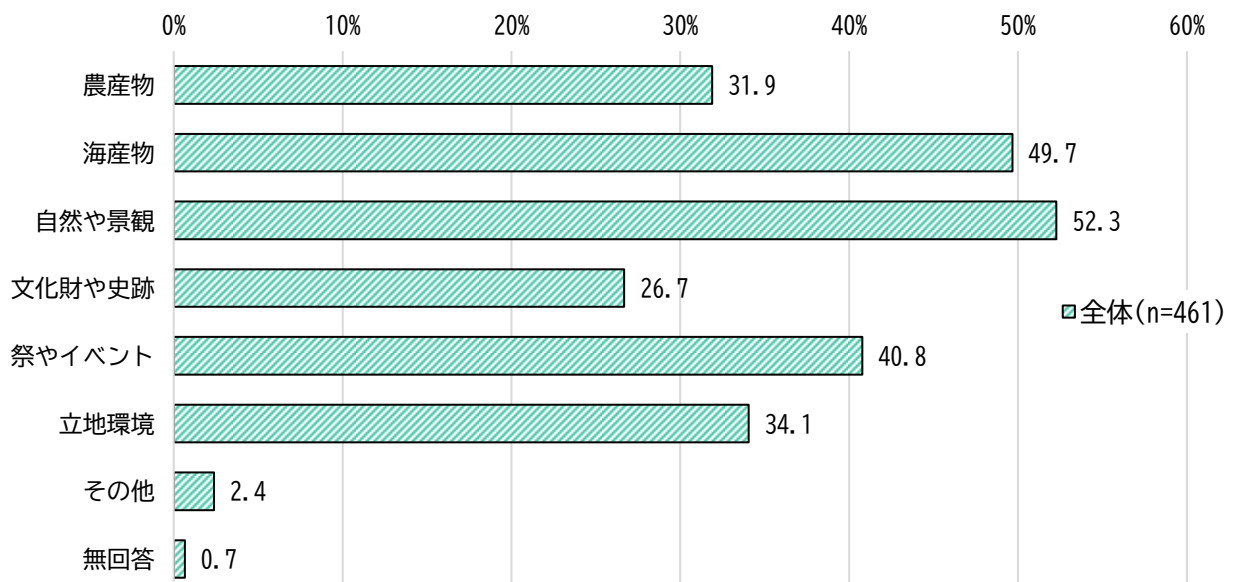
次いで「生活関連施設等が整った快適で便利なまち」の割合が高くなっていることから、若者定住に向けては、安全・安心な暮らしに加え、利便性の高い暮らしが求められていることが伺えます。現在の宇土市においてはすでに推進されている取組であり、さらなる積極的な推進が必要となっています。

宇土市がアピールできる魅力（地域資源）については、「自然や景観」や「海産物」、「祭やイベント」の割合が高くなっています。（図表15）これらを市の魅力（強み）として積極的に発信していくことで、市の認知度が高まり、さらに市民の郷土愛の醸成にもつながることが考えられます。

図表 14 宇土市のふさわしい将来のイメージ（市民 問 9）



図表 15 「宇土市がアピールできる魅力（地域資源）」（市民 問 10）



4. 雇用環境、働き方

◆宇土市の特徴や検討すべき課題等

昨年度の従業員数の雇用について、「新卒の正社員を雇用した」が1割未満、「中途の正社員を雇用した」約3割、「募集したが集まらなかった」が約2割となっています。

(図表 16)

また、「外国人を雇用した」企業は約1割となり、雇用した理由としては「人材不足を解消するため」の割合が高くなっています。(図表 17) (業種：製造業 4件、建設業 1件)

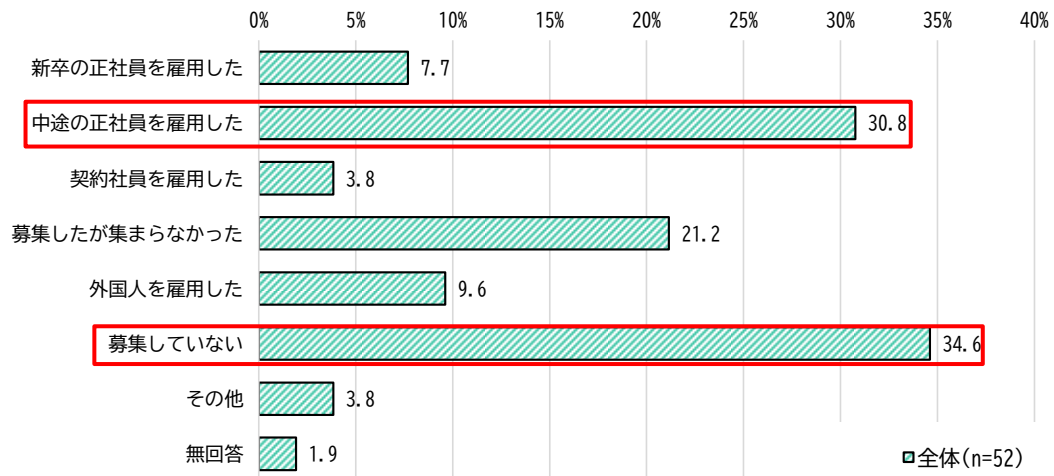
全体として従業員が「不足している」企業の割合は、5割近くとなっており(図表 18)、雇用環境の厳しさが伺えます。

働き方改革に取り組んでいる企業は約6割となっており(図表 19)、取組を進める中での問題点としては、「人手が足りない」、「今までの仕事の進め方が定着している」、「残業手当が減り従業員の満足度が下がる」の割合が高くなっています。(図表 20)

また、休暇や仕事と家庭の両立支援の取組については、有給休暇取得の関する取組は、制度改正等によりある程度浸透していることが伺えますが、一方で「取組は行っていない／特にない」企業が約4割となっています。(図表 21)

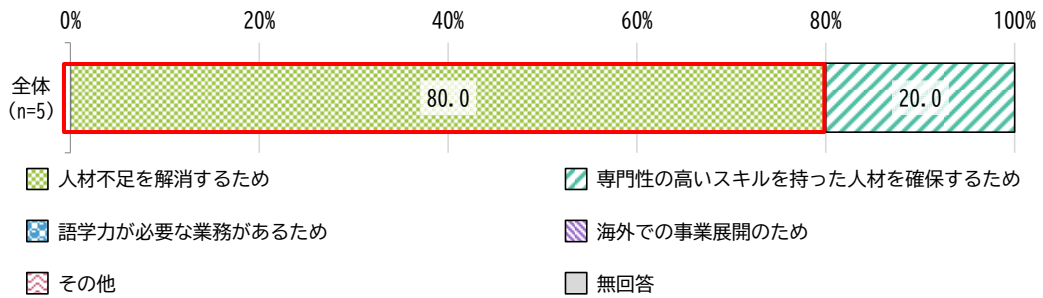
このようなことから、「両立支援等助成金」等の助成金制度や「賃上げ促進税制」等の税制改正などの情報提供により事業所の雇用環境整備を促すとともに、「仕事と家庭の両立支援プランナー」などの専門家(機関)の派遣や講習会の開催などの人材不足を補う支援が必要となっています。

図表 16 昨年度の従業員数の変化（企業 問7）



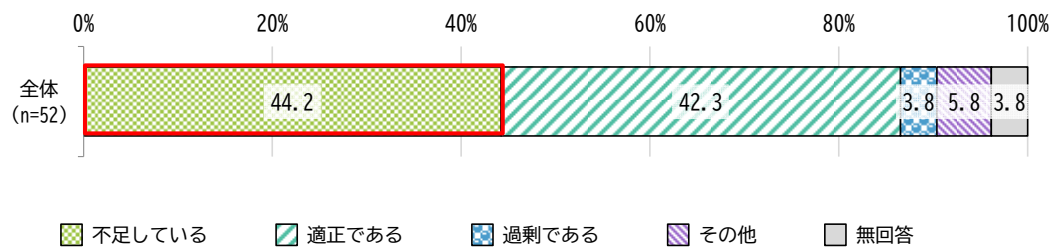
前問で「5. 外国人を雇用した」と回答した方のみ

図表 17 外国人を雇用した主な理由（企業 問7-1）

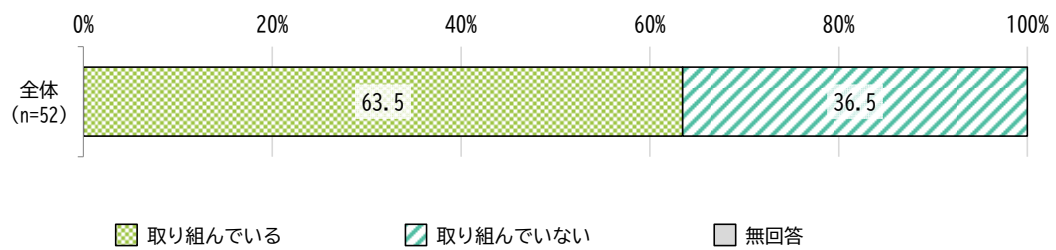


*外国人雇用の理由については、サンプル数が少ないため参考程度。

図表 18 従業員全体の過不足状況（企業 問 9）



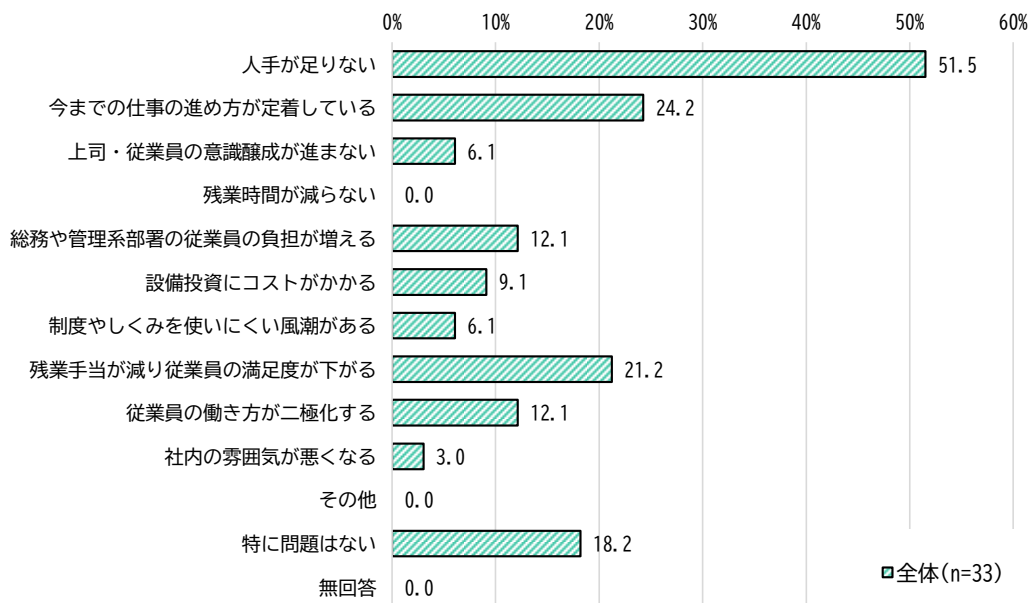
図表 19 「働き方改革」の取組状況（企業 問 16）



前問で「Ⅰ. 取り組んでいる」と回答した方

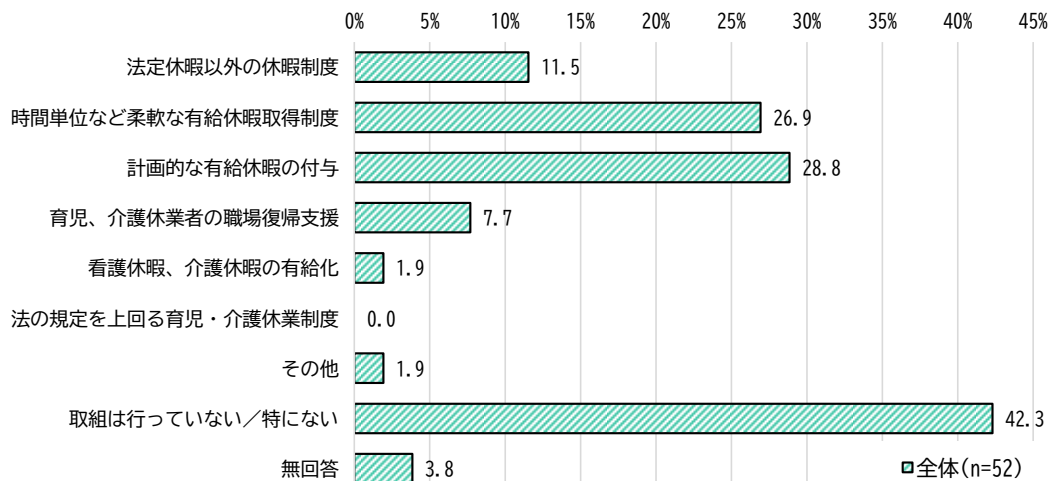
図表 20 「働き方改革」の取組を進める中での問題点（企業 問Ⅰ6-2）

○働き方改革の取組を進行するにあたっての現在の問題点については、「人手が足りない」が 51.5%と最も高く、次いで「今までの仕事の進め方が定着している」24.2%、「残業手当が減り従業員の満足度が下がる」21.2%となっています。



図表 21 休暇の取得促進、育児・介護等との両立支援の取組状況（企業 問20）

○休暇の取得促進、育児・介護等との両立支援のために実施していることについては、「取組は行っていない／特にない」が 42.3%と最も高く、次いで「計画的な有給休暇の付与」28.8%、「時間単位など柔軟な有給休暇取得制度」26.9%となっています。



5. デジタルの活用

◆宇土市の特徴や検討すべき課題等

インターネットを「ほぼ毎日利用している」が9割を超えています。(図表 22)

インターネットの利用目的については、「情報検索」が9割を超え最も高く、次いで「SNSの利用」、「動画視聴・投稿」が8割台となっています。(図表 23)

また、行政情報の収集や行政手続きの際のインターネットの利用希望については、『利用したい(積極的に利用したい+必要に応じて利用したい)』が9割を超えています。(図表 24)

市の情報について収集が『できていない:(あまりできていない+ほとんどできていない)』56.2%が『できている:(十分できている+まあまあできている)』37.3%を上回っています。(図表 25)

49歳以下のインターネット利用による情報格差は見られないことから、デジタルを活用した取組については効果的な推進が可能となると考えられます。

より効果的にするため、誰にでも使いやすい操作性などに配慮するとともに、併せて市民の関心を高める取組を実施することも重要となります。

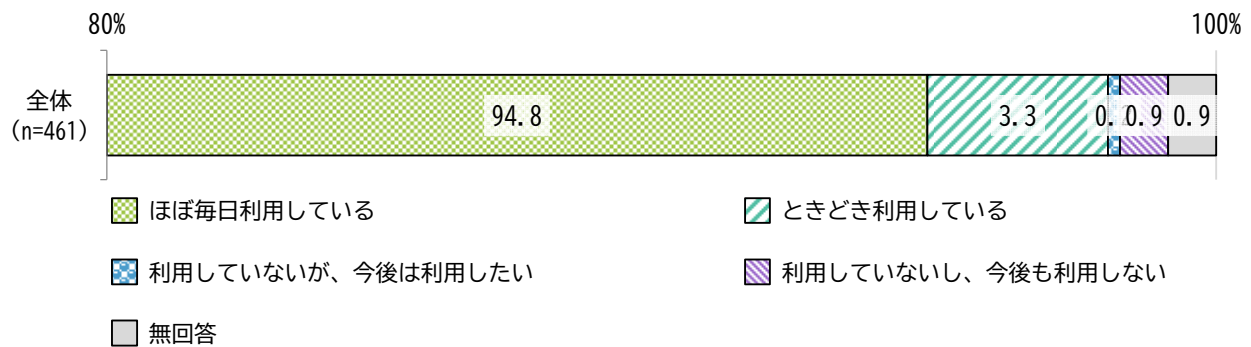
DXについて『理解している(理解している+ある程度理解している)』企業の割合は約7割となっています。(図表 26)

また、DXに「既に取り組んでいる」企業の割合は4割弱となっており、(図表 27) DXに取り組むにあたっての課題については、「DXに関わる人材が足りない」が約4割、「予算の確保が難しい」約3割と高くなっています。(図表 28)

DX推進に向け期待する支援策については、「補助金・助成金」の割合が7割を超え圧倒的に高くなっています。(図表 29)

企業のDX推進に向けては、理解促進のための専門的知識をもった人材の派遣や導入コストなど経済的な支援が求められています。

図表 22 インターネットの利用状況（市民 問19）

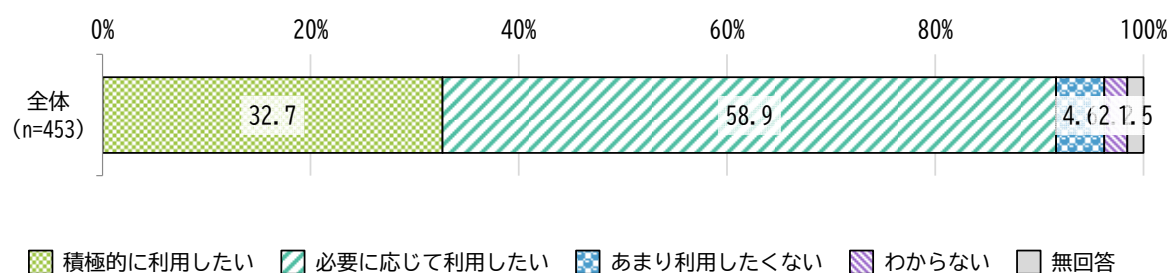


図表 23 インターネットの利用目的（市民 問21）

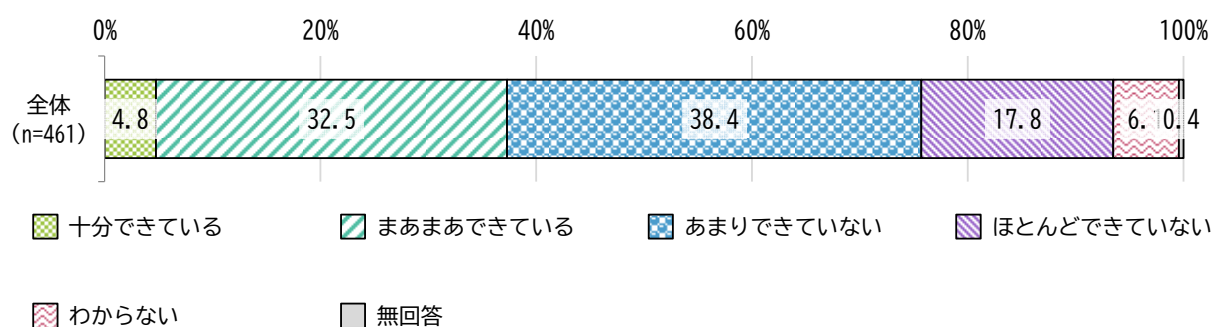
(上段：人 下段：%)

		標本数 (人)	情報 検 索	送 受 信	ホ ー ム ペ ー ジ の 閲 覧	S N S の 利 用	動 画 視 聴 ・ 投 稿	オ ン ラ イ ン シ ョ ッ	オ ン ラ イ ン ゲ ー ム	金 融 取 引	子 届 出	請 ・ 電 子 申 告 ・ 電	行 政 へ の 電 子 申 告 ・ 電	宇 土 市 の 行 政 情 報 の 閲 覧 ・ 収 集	進 健 康 管 理 ・ 健 康 増	ブ レ ワ ー ク ・ ウ エ	テ レ ワ ー ク ・ ウ エ	e ラ ー ニ ン グ	そ の 他	無 回 答
全体 (単純集計)		452	415	249	388	370	309	135	146	84	102	81	72	56	3	5				
			91.8%	55.1%	85.8%	81.9%	68.4%	29.9%	32.3%	18.6%	22.6%	17.9%	15.9%	12.4%	0.7%	1.1%				
年 齢 別	10代	7	5	4	6	6	4	0	0	0	1	1	0	0	0	1				
			71.4%	57.1%	85.7%	85.7%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%				
	20代	95	85	46	90	86	62	39	29	18	17	21	15	12	0	0				
			89.5%	48.4%	94.7%	90.5%	65.3%	41.1%	30.5%	18.9%	17.9%	22.1%	15.8%	12.6%	0.0%	0.0%				
	30代	126	114	62	111	102	89	42	39	19	28	20	16	16	1	1				
			90.5%	49.2%	88.1%	81.0%	70.6%	33.3%	31.0%	15.1%	22.2%	15.9%	12.7%	12.7%	0.8%	0.8%				
	40代	222	209	137	180	175	154	54	78	46	55	39	41	28	2	3				
			94.1%	61.7%	81.1%	78.8%	69.4%	24.3%	35.1%	20.7%	24.8%	17.6%	18.5%	12.6%	0.9%	1.4%				
地 区 別	宇土	234	214	133	205	197	161	66	69	48	52	45	37	34	1	1				
			91.5%	56.8%	87.6%	84.2%	68.8%	28.2%	29.5%	20.5%	22.2%	19.2%	15.8%	14.5%	0.4%	0.4%				
	花園	115	105	61	97	94	80	39	44	20	27	20	17	11	1	3				
			91.3%	53.0%	84.3%	81.7%	69.6%	33.9%	38.3%	17.4%	23.5%	17.4%	14.8%	9.6%	0.9%	2.6%				
	轟	33	29	20	29	27	24	12	7	4	11	7	6	4	0	0				
			87.9%	60.6%	87.9%	81.8%	72.7%	36.4%	21.2%	12.1%	33.3%	21.2%	18.2%	12.1%	0.0%	0.0%				
	走湯	21	21	9	18	12	13	6	6	5	5	4	4	2	1	0				
			100.0%	42.9%	85.7%	57.1%	61.9%	28.6%	28.6%	23.8%	23.8%	19.0%	19.0%	9.5%	4.8%	0.0%				
	緑川	13	12	6	12	11	10	3	8	2	1	2	1	1	0	0				
			92.3%	46.2%	92.3%	84.6%	76.9%	23.1%	61.5%	15.4%	7.7%	15.4%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%				
	網津	18	17	8	13	14	11	3	5	1	1	3	2	2	0	1				
			94.4%	44.4%	72.2%	77.8%	61.1%	16.7%	27.8%	5.6%	5.6%	16.7%	11.1%	11.1%	0.0%	5.6%				
網田	16	15	12	13	14	9	6	7	3	5	0	5	2	0	0					
		93.8%	75.0%	81.3%	87.5%	56.3%	37.5%	43.8%	18.8%	31.3%	0.0%	31.3%	12.5%	0.0%	0.0%					

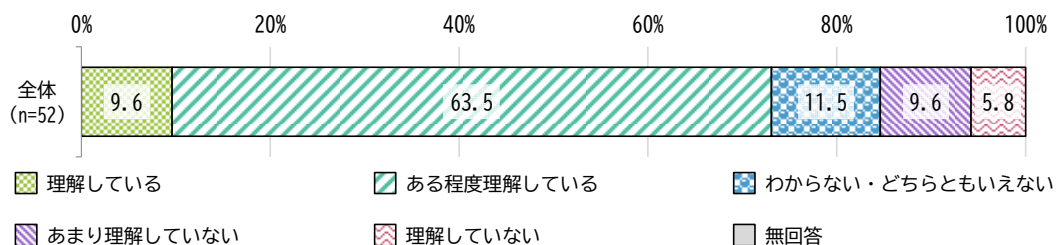
図表 24 インターネットを利用した行政サービスの利用希望（市民 問 2 3）



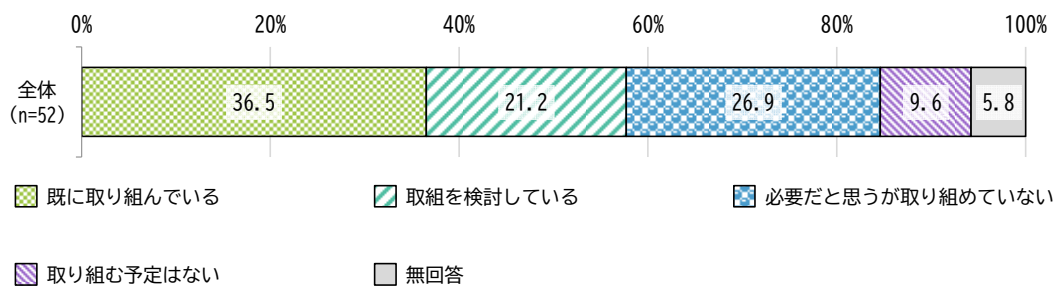
図表 25 市の情報収集の状況（市民 問 2 4）



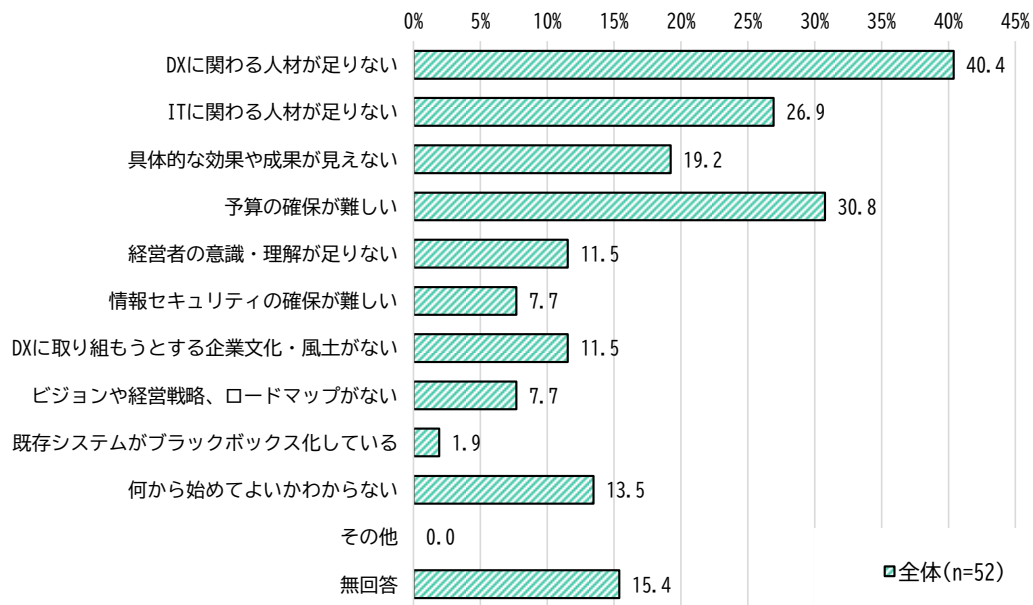
図表 26 DXに対する理解度（企業 問 2 3）



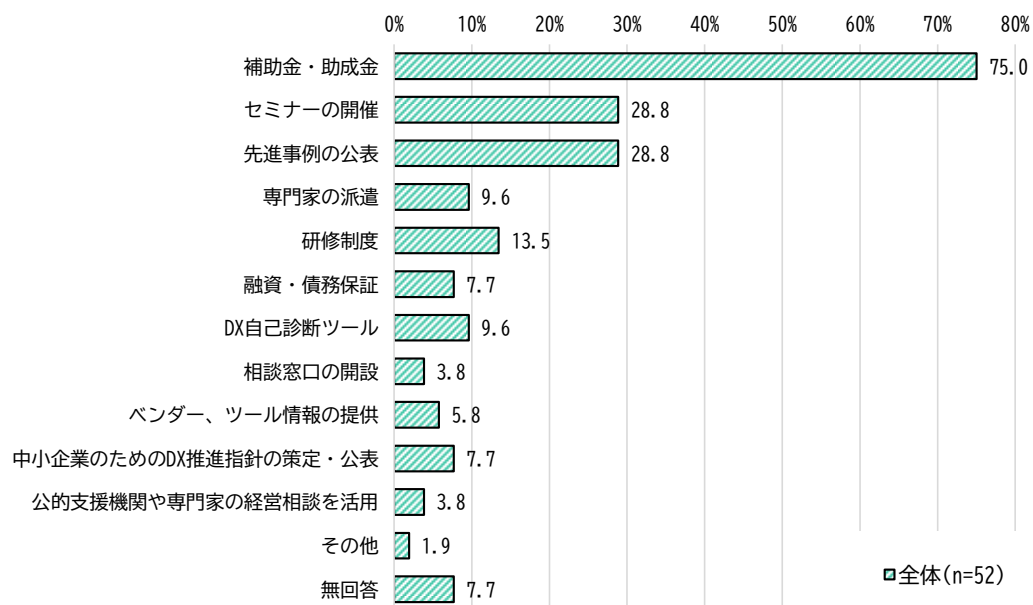
図表 27 DXの取組状況（企業 問 2 5）



図表 28 DXに取り組むにあたっての課題（企業 問29）



図表 29 DXの推進に向けて期待する支援策（企業 問30）



6. 在留外国人の生活状況

◆宇土市の特徴や検討すべき課題等

来日した目的については、「日本で働くため」が約6割と最も高く、次いで「技能実習のため」約3割となっています。（図表 30）

日本語を「生活するのに問題なく聞いたり話したりできる」と「日常会話ならできる」を合わせた割合は約7割となっており、「単語だけはわかる」約2割となっています。（図表 31）

日本語を読むことについては、「生活するのに問題なく読める」、「ひらがな、カタカナと簡単な漢字ならわかる」、「ひらがな、カタカナならわかる」を合わせた割合は9割台後半と高くなっています。（図表 32）

ひらがな、カタカナであれば読むことができる人の割合は、非常に高くなっていることから、情報の発信や相談窓口、病院、避難所等においては、ひらがな、カタカナの表記など配慮が必要となっています。

しかし、今回のアンケートには、日本語が読める人が多く回答したこと想定され、日本語が理解できる人の割合が高くなっていると考えられ、取り扱いには注意が必要となっています。

また、現在、日本語を「勉強している」割合は6割となり、日本語能力の低い人の内、勉強していない人も存在しています。（図表 42）

困った時の相談相手については、「職場の日本人」が6割近くと最も高くなっています。（図表 32）

子育てでの悩みや困りごとについては、「幼稚園や保育所、学校からの「お知らせ」が読めない」、「幼稚園や保育所、学校などに入る方法がわからない」、「子どもに自分の国の言葉や文化を伝えるのが難しい」が13.5%と最も高く、次いで「外国人だから、子どもに友だちができない」10.8%となっています。（図表 33）

妊娠や出産についての相談先の認知度については、「知っている」が35.3%、「知らない」が46.1%となっており、「知らない」が「知っている」を上回っています。（図表 34）

宇土市で妊娠・出産することへの不安点については、「不安・心配なことはない」が36.3%と最も高く、次いで「どこの病院に行けばよいかわからない」20.6%、「妊娠・出産にどのくらいお金がかかるかわからない」13.7%となっています。（図表 35）

子育てや妊娠・出産についての相談については、主な相談先となっている職場の日本人や日本人の友人では、解決できない問題も多くあることが想定されることから、行政

や専門機関へのつなぐ仕組みづくりや相談窓口の外国語への対応など充実を図る必要があります。

仕事をしている人勤務形態については、「技能実習・特定技能」が 55.8%と最も高く、次いで「会社やお店の正社員」17.9%、「会社やお店の非正規社員」14.7%となっています。（図表 36）

仕事をしている人の業務内容については、「製造・工場・倉庫」が 29.5%と最も高く、次いで「飲食店・フード」17.9%、「その他」13.7%となっています。（図表 37）

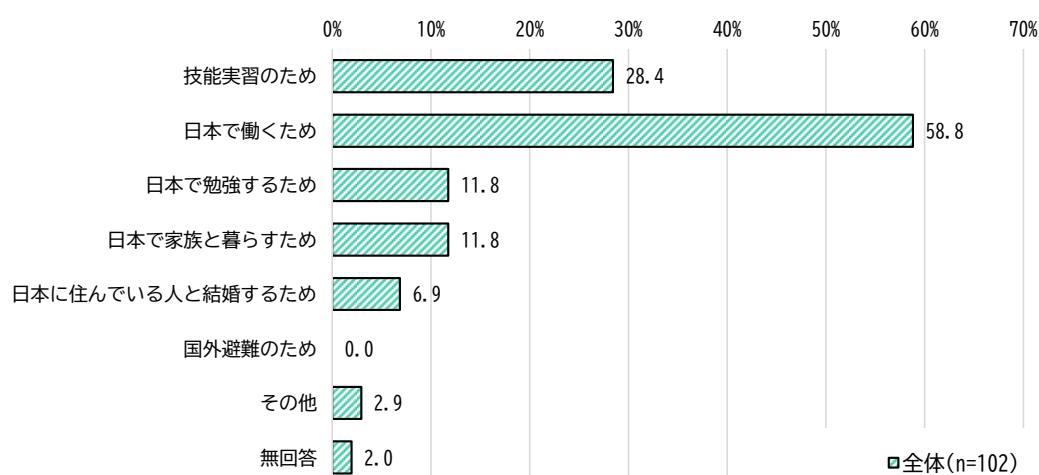
生活資金について『ある（十分にある＋困らないぐらいにはある）』割合は約5割となっています。一方、「全然足りない」割合が1割弱存在しています。（図表 38）

近年、外国人人口が増加していることに加え、新たな在留資格として「特定技能」が創設され、地域における新たな担い手として、外国人材の更なる活躍が期待されています。また、地方創生の視点からもデジタル人材など、専門性を有する高度外国人材を確保し、地方に不足している知識・経験の獲得や国際関係業務の遂行、海外展開の足掛かりとすることも期待されています。このような状況の中、地方公共団体においても、外国人材がその能力を最大限に発揮し、地域における新たな担い手として定着できるよう、外国人材に対する積極的な受入支援や共生支援を行うことが重要となっています。

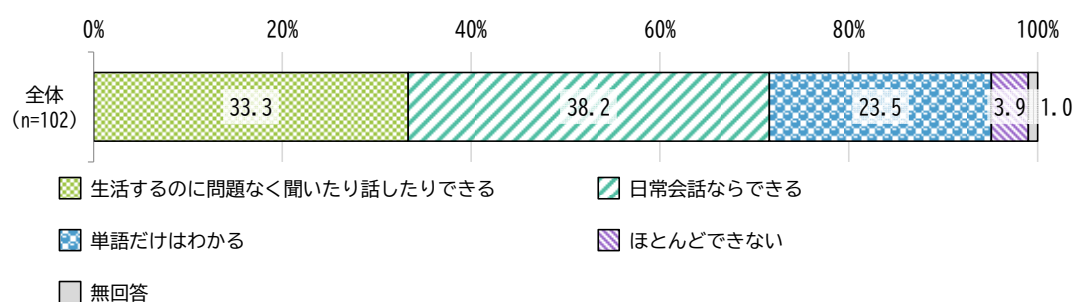
災害時の避難所を「知らない」人の割合は約4割となっています。（図表 39）

宇土市を外国人が暮らしやすい地域にするために自身がしたいことについては、「日本の文化、生活習慣の理解」や「日常的な交流」、「国際交流の行事や地域のお祭りなどに参加する」など地域への関わりを希望する項目の割合が高くなっていることから、地域の共生社会の意識醸成や外国人が地域で活躍できる機会や場の創出が求められています。（図表 40）

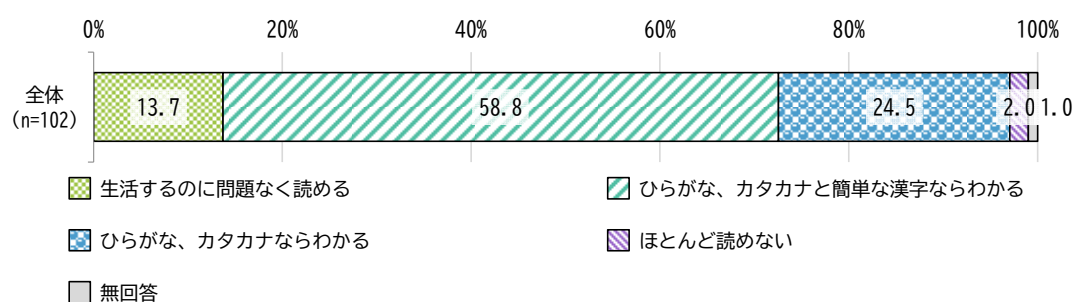
図表 30 来日目的（外国人 問4－2）



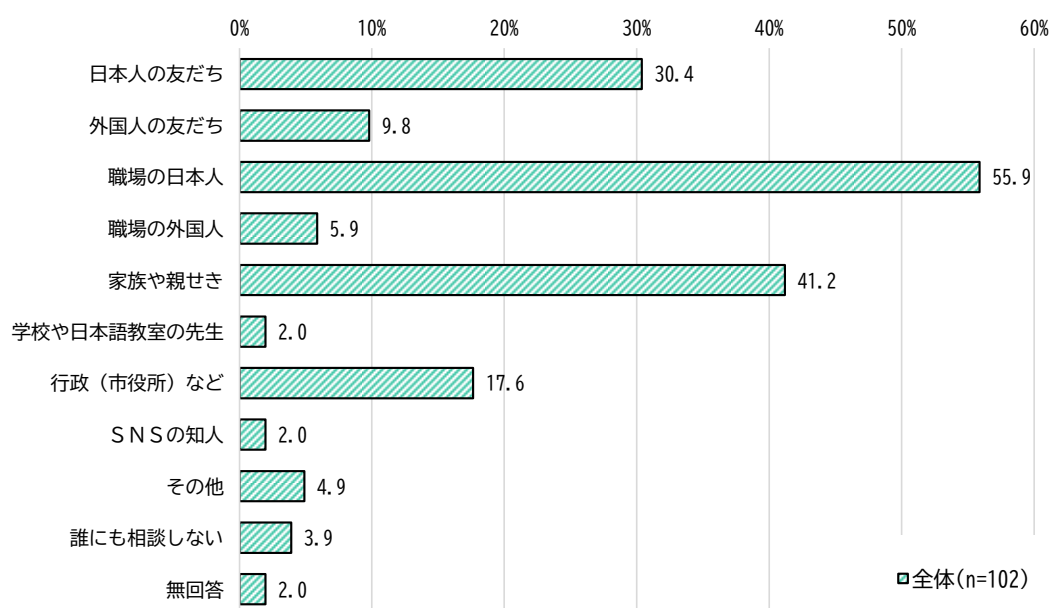
図表 31 日本語の理解状況＜聞く・話すこと＞（外国人 問4－3）



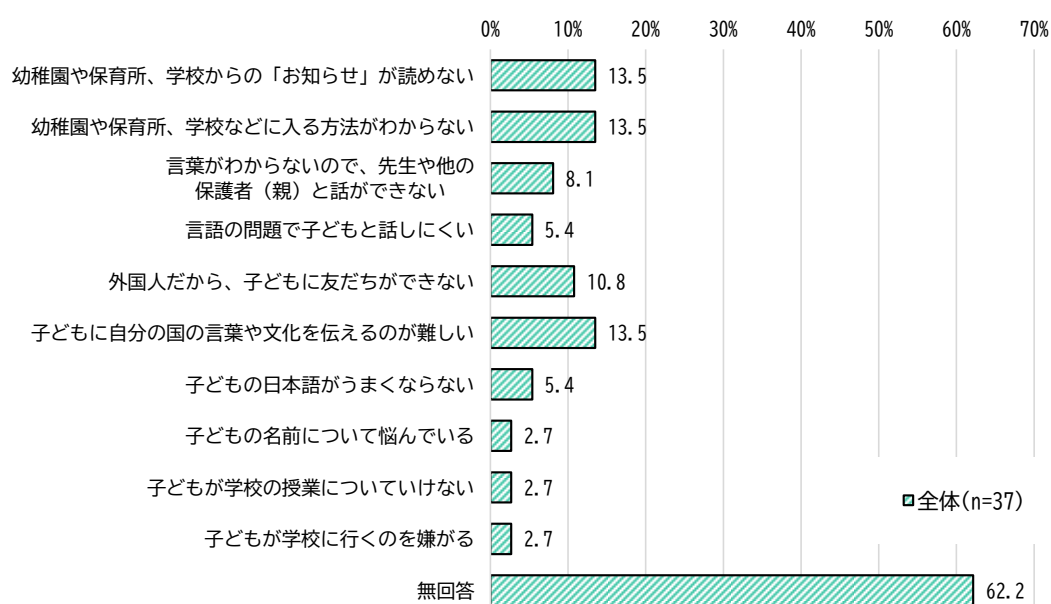
図表 32 日本語の理解状況＜読む＞（外国人 問4－3）



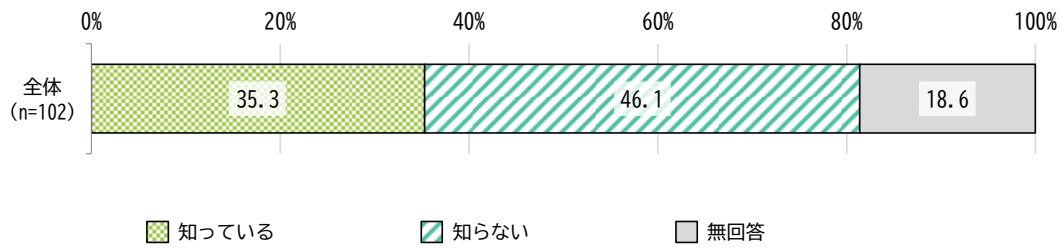
図表 32 困ったときの相談先（外国人 問11）



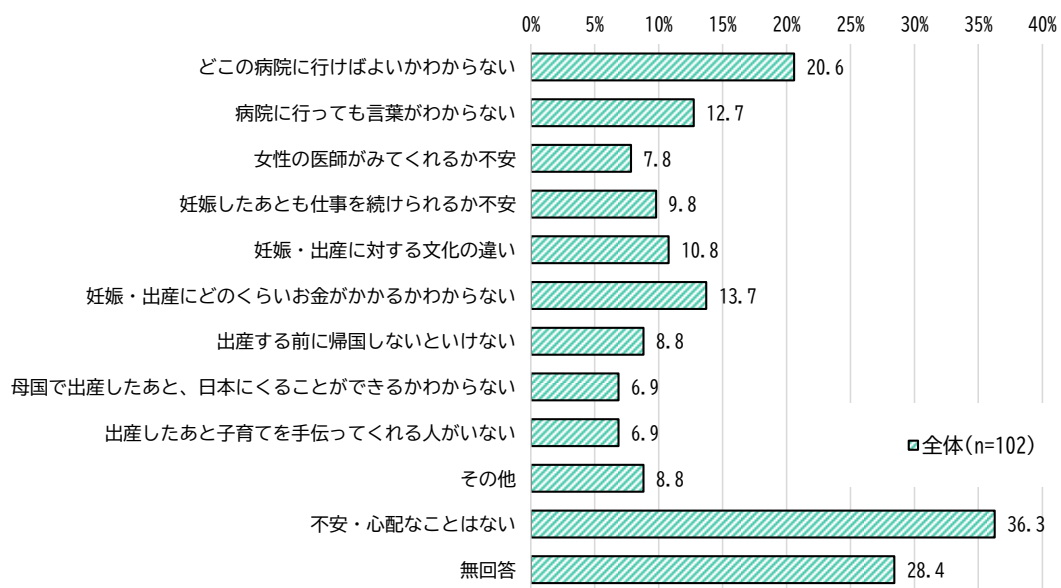
図表 33 子育てで悩んだり困っている（困った）こと（外国人 問14）



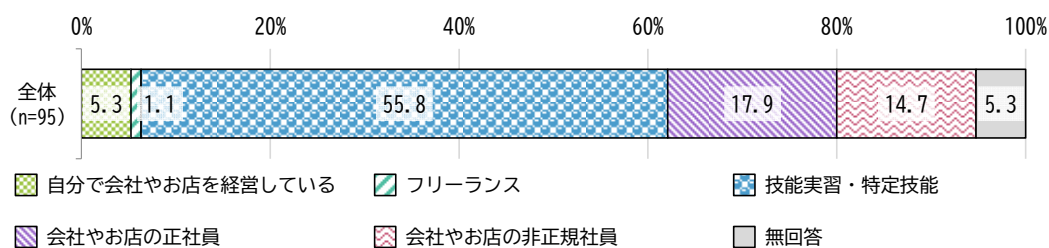
図表 34 妊娠や出産についての相談先の認知度（外国人 問15）



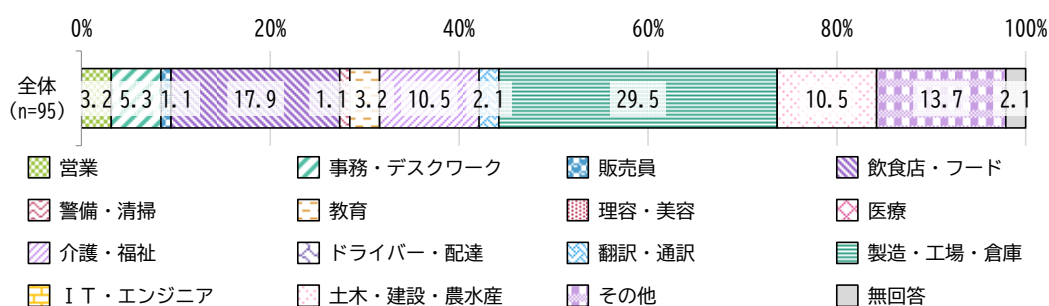
図表 35 妊娠・出産することについて不安なこと（外国人 問16）



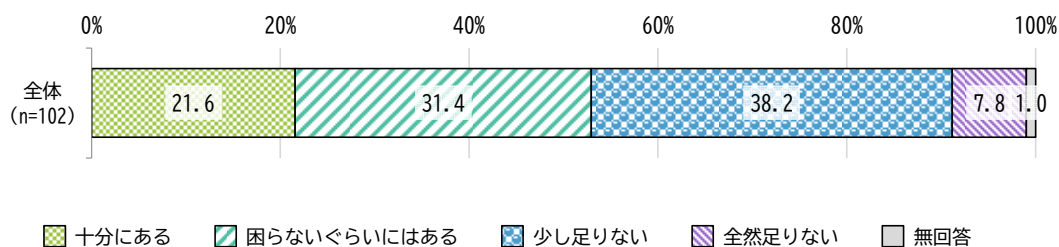
図表 36 働き方<仕事をしている人のみ>（外国人 問17-2）



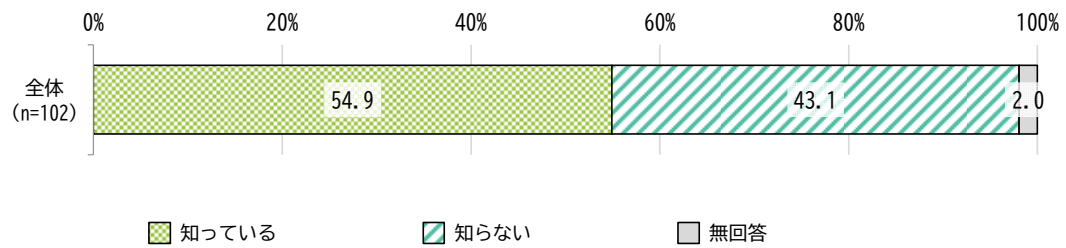
図表 37 仕事内容<仕事をしている人のみ>（外国人 問18）



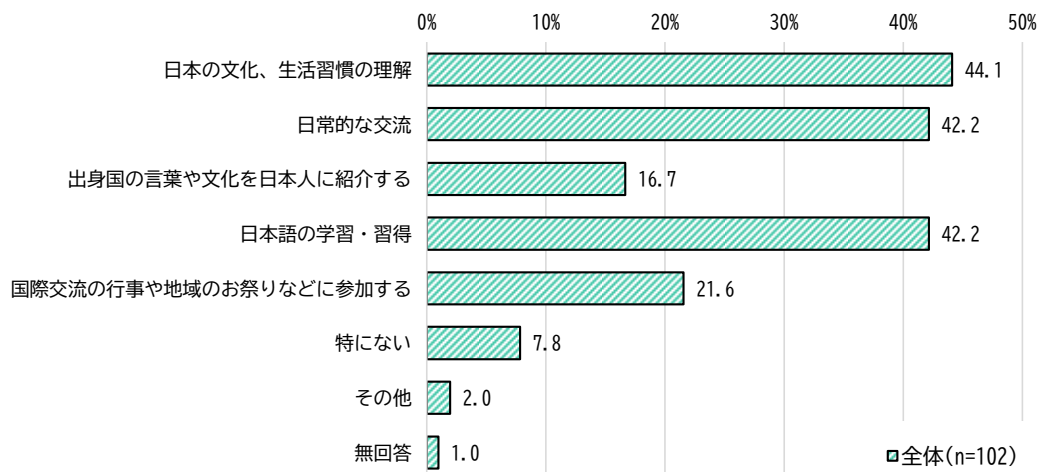
図表 38 生活資金の状況（外国人 問20）



図表 39 避難所の認知度（外国人 問 29）



図表 40 外国人がくらしやすい地域にするためにしたいこと（外国人 問 37）



図表 41 行政（役所）からの情報の入手方法（外国人 日本語の理解状況×問 10）

(上段：人 下段：%)

		標本数（人）	1 宇土市のホームページ	2 広報うと	3 家族・友人・職場	4 SNS	5 その他	6 情報が届かない	無回答
全体 (単純集計)		102	45 44.1%	25 24.5%	28 27.5%	35 34.3%	9 8.8%	10 9.8%	3 2.9%
（問 4-3） 聞く・話す	生活するのに問題なく聞いたり話したりできる	34	11 32.4%	11 32.4%	10 29.4%	15 44.1%	2 5.9%	0 0.0%	1 2.9%
	日常会話ならできる	39	24 61.5%	9 23.1%	8 20.5%	12 30.8%	5 12.8%	3 7.7%	1 2.6%
	単語だけはわかる	24	8 33.3%	4 16.7%	9 37.5%	6 25.0%	1 4.2%	6 25.0%	1 4.2%
	ほとんどできない	4	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%
（問 4-3） 読む	生活するのに問題なく読める	14	5 35.7%	9 64.3%	3 21.4%	5 35.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%
	ひらがな、カタカナと簡単な感じならわかる	60	30 50.0%	14 23.3%	17 28.3%	21 35.0%	7 11.7%	7 11.7%	1 1.7%
	ひらがな、カタカナならわかる	25	10 40.0%	2 8.0%	7 28.0%	8 32.0%	1 4.0%	2 8.0%	1 4.0%
	ほとんどできない読めない	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%

図表 42 日本語学習の状況（役所（外国人 日本語の理解状況×問 4 - 5）

(上段：人 下段：%)

		標本数（人）	1 勉強している	2 勉強していない	無回答
全体 (単純集計)		102	63 61.8%	36 35.3%	3 2.9%
（問 4-3） 聞く・話す	生活するのに問題なく聞いたり話したりできる	34	24 70.6%	9 26.5%	1 2.9%
	日常会話ならできる	39	27 69.2%	12 30.8%	0 0.0%
	単語だけはわかる	24	11 45.8%	12 50.0%	1 4.2%
	ほとんどできない	4	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%
（問 4-3） 読む	生活するのに問題なく読める	14	9 64.3%	4 28.6%	1 7.1%
	ひらがな、カタカナと簡単な感じならわかる	60	38 63.3%	21 35.0%	1 1.7%
	ひらがな、カタカナならわかる	25	16 64.0%	9 36.0%	0 0.0%
	ほとんどできない読めない	2	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%